

令和3年7月1日



成 埃 己 盡

公益財団法人日本中学校体育連盟柔道競技部

部 長 高橋 健司

目標をもって練習に励んでいた全国の中学生柔道部員たちに、突如、降りかかった昨年度の災難でした。コロナ禍の影響を受け、第32回オリンピック競技東京大会柔道競技も延期されましたが、まもなく開催を迎えるまでに至りました。柔道関係者にとって、開催が追い風になることを期待してやみません。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、突然の臨時休業、諸事業の中止、滞った教育活動の現状を目の当たりにして、無念の日々を過ごした1年間でした。第51回全国中学校柔道（静岡）大会、ブロック大会、そしてその予選会となる都道府県大会の開催中止。やり場のない悲しみと苦しみの中、当時の3年部員がみせた涙が、今でも忘れられません…。

緊急事態宣言の再延長、まん延防止等重点措置が講じられている現状ですが、社会生活も学校生活も、昨年度とは比べものにならないくらい平常の活動が営まれるようになりました。もちろん、コロナ対策に万全を期しながら、正しく判断して諸活動を進めていくことが肝要なのは言うまでもありません。

東京都中体連柔道競技部は、全国の先陣を切って6月13日（日）、20日（日）、27日（日）の3週に渡り、令和3年度第52回全国中学校柔道（群馬）大会の予選会となる第60回東京都中学校総合体育大会柔道競技大会を開催することができました。東京オリパラの使用会場の影響を受け、例年より1ヶ月も早い大会となりましたが、あらゆる手段を講じて無事、全中大会、関東ブロック（山梨）大会の代表選手を選出することができました。他道府県の柔道関係者の皆様も、大会開催に向けて邁進していただければと願っております。

指導者の方々へ

柔道部活動での「学び」を活かし、誇りをもたせ、他の生徒の模範となるような行動をとらせることは、教員として、顧問として、地域指導者として真剣に指導してきた者ならば当然のこと。安全安心に大会を開催するには、関係者がコロナ対策を万全に講じることが条件です。全中大会やブロック大会の出場を目指し、部員に対して自己管理の徹底と誠実な指導を引き続き、よろしくお願いいたします。

保護者の方々へ

日頃より厚いご支援、ご信頼をいただきながら活動できることに、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。本年度も大会開催など、先行きに不安を抱えながら、お子様の努力している姿を目の当たりにしてきたことと思います。本年度はコロナ禍でありながら、昨年度の様々な反省を活かし、コロナ対策を万全に講じることができそうです。義務教育競技団体として、そして大人として可能な限りの事業を今後も展開してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

柔道部員たちへ

全中大会やブロック大会の出場を目指して日々努力している選手のみなさん、準備は万全でしょうか。昨年度、大会に臨むことができなかった先輩方の顔を思い出してください。先輩方の思いを胸に、メインの大会を迎え、そして悔いなく終えることを願ってやみません。自分が思い描いた結果を残す人、残念ながら果たせない人、結果はそれぞれの思いとなりますが、大会に出場できる喜びを噛みしめて欲しいと思います。お世話になっている方々への「感謝の気持ち」、取り組んできた「学び」、そして培った「誇り」を大切に大会に臨んでください。

柔道は濃厚接触競技です。コロナ対策を万全に整えても、感染ゼロは容易に果たせません。「正しく」恐れてその徹底を図り、世の情勢を「正しく」判断し、これからも諸事業実施に邁進してまいります。

「おのれをつくしてなるをまつ」

嘉納治五郎師範の教えである「精力善用」「自他共栄」、実践のときであると実感しています。